

保護者各位

2021年9月22日

2021年度(上半期)保護者アンケートのまとめ

千代田せいが保育園  
園長 倉掛秀人

保護者アンケートにご協力いただき感謝申し上げます。今回は保育園が目指している理念や保育目標についてお尋ねしました。たくさんの記入をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

<アンケート実施日>

令和3年8月18日(水)～9月6日(月)

<アンケートの方法>

一斉送信アプリ「コドモン」にてアンケートを実施

<回答率>

家庭数38(園児数50)人に対して32家庭から回答(回答率85%)

<質問内容>

保育目標について4項目、保育方法について4項目、保育の質について1項目、そのほか上半期の保育および行事について、合計10項目についてお尋ねしました。

<以下のアンケート結果の見方>

- 文章の頭にある印は「そう思う」は◎、「そう思わない」は✕、「わからない」は△です。
- ご紹介するものは「その理由」をお書きいただいたものです。年齢別に並べました。

Q1 保育目標について。子どもは一人ひとり発達も個性も異なるので、その子らしく生活できるようにしたいと考えていますが、どう思われますか？

◎そう思う 3 1 ×そう思わない 0 ▲わからない 0

#### 【0歳】

◎子ども一人ひとりで個性が違うと思うから

◎実際にちっち組の子供達を見ていて少し月齢が違うだけでも成長の差を大きく感じたため個人個人に合わせた保育をしていく必要があると思った。

#### 【1歳】

◎個性を尊重して育てていきたいと思っているため

#### 【2歳】

◎特に幼児期の教育は、画一的な指示に基づく教育のみだと延びしろが限られてしまうのではないか。

◎その子らしく生活できるというのは、人として尊重されていると感じます。ひとりひとりの成長を大切に見守ってくれているように感じます。

#### 【3歳】

◎お昼寝や水遊びの選択ができることで、自分に合った生活や睡眠のリズムを獲得できているように思います。先生方は大変だと思いますが、とてもありがたく思っています。

◎設問にもあるように、子ども一人ひとり発達も個性も異なるので、その子の良いところを伸ばし、その子らしく生活できると良いと思います。もちろん集団で生活する上で身につけないといけないこともあると思いますので、その両方のバランスを上手くとっていただけたらと思っています。

#### 【4歳】

◎進級し、お当番活動が本格的になり最初の1,2週はできていたようですが、3週目頃からエプロンを使わずに終わることが続きました。前に出たくない朝や帰りのお当番も消極的で私ども親は「普通、これぐらいの子どもは張り切ってお当番をするのではないか」と思っていたのですが、先生方は無理にお当番を勧めることなく見守ってくださっていました。「普通」とか「こうあるべき」にとらわれず、子どもがどうしてそのような行動をとるのか、何を思っているのかをまず考え尊重してくださることをとてもありがたく思っています。

◎ますます不確実性が高まる社会に生きることになる子供世代にとって、個性を發揮し、得意なことを伸ばすことこそ重要だと思うので、幼少期からそれが許容され、見守られることでその素地が育まれると思うため。

◎子どもの発達や個性に合わせた保育が行われるのは、もちろん理想であると考えます。

さらに、その「自分らしさ」が、周囲との軋轢を生み出す可能性を考慮し、それを乗り越える経験を得られればと考えています。

例えば娘は今、女性らしいファッションに関心がありますが、自分の見た目を追求するだけでなく、他の子どもに対して否定的な言及に及ぶトラブルの可能性を抱えています。さらに、そういった娘の振る舞いを目障りに感じる子どもがいることも想像に難くありません。（実際、以前の園では、周囲の目を気にせず「自分らしく」振る舞ったことによって、他の同性の子に干渉されたこともあったようです。）個性は伸ばすだけでなく、周囲と折り合いを付ける方法を学ぶ必要があります。周囲の目を恐れて萎縮するのではなく、周囲の理解を得て受容される振る舞い、あるいは周囲を巻き込む働きかけの姿勢を学ぶことを、期待しています。

◎子供達はそれぞれ違う個性を持ち、発達の程度や興味の対象が異なる、というのは、我が家の育児でも痛感しています。

◎兄弟であっても発達や個性がまったく異なると感じます。「平均」や「標準」に合わせることにデメリットが大きくメリットが小さいと思っています。言葉の発達や運動面の発達、トイレの自立など。

◎義務教育の現場や実世間では、画一性を求められる場面も多くあります。それは社会生活において、ある程度必要なことだとは思いますが、画一性を身にまとう前に「その子らしさ」という核がなければ、アイデンティティは形成されないように思います。また多様性が叫ばれる昨今、人種や性別、障害の有無など特定の属性に主眼が置かれがちですが、そもそも人間は誰一人として同じではなく、多様であるのは当然のことです。こうした多様性の受容は、自らが認められ、受け入れてもらった経験が土台になるので、「その子らしさ」が尊重される環境は大切だと思います。

## 【5歳】

◎画一的な保育や教育は個性を尊重するこれからの時代にそぐわないため。

◎集団の中で協調性を持ちつつ、許される範囲で無理なくその子らしく過ごすことは大切だと思います。

◎自主性や個性を尊重頂けるのはありがたいです。不得意なことや嫌いなことにも集団生活の中で取り組んでいると思うので、そういったバランスが大切なのかと思います。

◎そう思うが、小学校になると急に横並びに教育が始まるので、それについてはそろそろ心配に思うことがある。今、保育園がそれぞれにあった取り組みを大事にしてくれているように思うので、スムーズに小学校生活に溶け込めるかが心配。

◎大人にとっても子供にとっても、『こうあるべき』ということは全くないと思うので、大人の価値感を押し付けられずに安心して生活できる環境はとても大事だと思います。

◎みんな一緒にしては、どうしても無理が生じてくるから。

◎子供たちがのびのび個性を失わず成長することが特に大切とされる幼児期なので、一人ひとりを尊重できるよう家庭と保育園とで関わっていければと考えています。

Q2 保育目標について。子どもはもともと赤ちゃんの頃から意欲的で、自ら環境に関わっていきこうとします。そのために発達や個性にあった体験を選べる環境（空間・もの・人など）を大切にしているのですが、どう思いますか？

◎そう思う 30 ×そう思わない 0 ▲わからない 1

## 【0歳】

◎素晴らしいと思います

## 【1歳】

◎特に小さい頃は発達の差が大きいのので、段階に合わせた体験が重要であると思われるため

## 【2歳】

◎幼児は恥や外聞など気にせず好きなことをチャレンジすると思うのでとてもよいと思います。

◎クラスブログ等でも拝見した通り、おもちゃや絵本などの配置がえ、ひとりで過ごせると空間を用意してくださったりなど、限られた空間のなかでもとても工夫して実践しようとしてくださっているように思います。

## 【3歳】

◎ゾーンの選択制や食事のいっぱいちょっとなど、自分の好きなこと、できることを選択できる環境がとてもいいなと思っています。

◎色々な遊びのゾーンがあり、自分でそれを選べる。

## 【4歳】

◎アリの巣ハウスやダンゴムシの飼育など、興味を持ったものを深められる環境をすぐ整えてくださいました。何もしたくないという選択もできるようくつろぎゾーンがあるのが素敵だなと思っています。

◎3階のゾーン選択制などはそれが具現化されていて、非常に良いと思う。

◎子どもに選択肢を提供して、選ばせることは、主体性を育む上で大きな意味があると思います。

凡庸な行動でも自ら進んで選択したという過程が存在するだけで、子どもにとっては全く意味が違ってくる。特に障害に遭遇したときに、それに対して強く抵抗するようになるなど感じています。要するに、自分で選んだことは、上手く行かなくても簡単に投げ出さなくなる。テレビのリモコンひとつ取っても、自分でチャンネルを操作できると分かれば、試行錯誤を繰り返して、あっという間に使い方を習得してしまう。親が「与える」のではなく、主体的に「選ばせる」ことが、学習における強い動機付けになることを痛感しています。

◎様々な選択肢から自分の求める物を選び取る、という力・技術は、大人になっても生き抜くために必要な力だと思うから。

▲日常生活でなかなかイメージのない、専門的な内容に感じました。

◎園生活では、日々のゾーン遊びから給食、午睡など、各場面でさまざまな選択肢が用意されています。選択するためには、まず今の自分を知ることが必要で、自分自身と対象物との関係を日々更新していくことが大切だと思います。他者との比較ではなく、個々の意欲と達成度を重視していただけることが、千代田せいが保育園の魅力だと思います。

## 【5歳】

◎体験が心の成長にも寄与し、自己肯定感などにもつながると思うので、その選択肢は多いことが望ましいため。

◎ストレスなく過ごせるよう環境に選択肢がある事は幼少期では大切なことだと思います。

◎選べる、というところが特にいいと思います。子供の好奇心をくすぐるような保育を期待しています。

◎部屋を見渡してもそれぞれが興味、関心を持ったことが選択できる環境にあるため。また異年齢で、兄弟以外の関連があるのもよい。

◎とても大事だと思います。自分で選んでやるのと、やらされてやることでは全く違うと思うので。

毎日自分でゾーンを選択することや、食事のいっぱいちょっと。プール選択、先生との会話の中など、いろんなシーンでそうしていただいていると感じています。一点、みんなで足並み揃えるところ（朝の会や帰りの会など）も設けていただいているので、そこまで心配していませんが、今の小学校教育ではみんなと同じことをしなくてはいけないので、切り替えが上手に行くかは気になっています。

◎その子らしさを生かすことに繋がっていくと思う。

◎教科書、育児書どおりにいかないのが子育て。子供のやりたいを育ててあげたいですし、それがきっと子供にとってもいい経験の積み重ねになるなと思います。

Q3 保育目標について。集団のある園生活では、子ども同士の関わりを大切にしています。そこでは社会性（ルールを身につけたり、支え合って生活したりすること）や思いやりが育つと考えるからです。どう思われますか？

◎そう思う 29 ×そう思わない 0 ▲わからない 2

#### 【0歳】

◎同意見だから

◎実際に知人の子供を見たりすると保育園に通っていた子供は社会性や思いやりが育っていると感じたため。

#### 【1歳】

◎他の人との関わりを通じて様々なことを学ぶことが大事であると思っているため

#### 【2歳】

▲同級生同士はその通りだと思うのですが、お迎え時に年上男子におもちゃのように扱われているのを見ると親として思うところは多々あります。決して帰り道がウキウキするということはないです。また自分の子供が年下の子供におなじようなことをしていないか不安です。

◎とてもそう思います。大人がなんでも介入するのではなく、子供同士のやりとりを見守ってくださっている姿勢にも意味があり、自分で考える、相手の気持ちを考えるなど社会性が身についていると感じます。

#### 【3歳】

◎特に年齢の違うお友達との関わりがあることで、上の子に憧れて目標ができたり、小さい子には優しく接することを学んだりできていると思います。

#### 【4歳】

◎異年齢で仲のいいお友達ができ、多くのことを学んでいるようです。言葉や知識を年上のお友達から吸収していることはもちろん、納得ができなくても意見に従うことや、違うことは違うと言うことの難しさなど、人間関係の機微も学んでいるのだと思います。最近はにこにこやちぐんさんを「かわいい～」と、とろけるような笑顔で見つめていて年下のお友達を慈しむ気持ちが芽生えたり、お友達がお休みだと元気がなくなるくらい寂しがったりと、保育園が大きな一つの家族なんだなと思います。

◎先生が一律にコントロールするルールではなく、子供同士で自発的にうまれる社会性であるように見えるので、その点も良いと思う。

◎社会性は、まさに園生活の中でしか身に着けられない能力のひとつだと思います。人間関係に関する能力は結局のところ、人間関係の中でしか習得できないからです。子どもの人間関係に関わる能力は、思いのほか早く発達するようで、娘は言語や数字の習得よりも先に、人の繋がりや機微を理解し、他の子どもとの関係の中で拙いながらも「感情を隠す」「機嫌を取る」「妥協をする」といった振る舞いをしていました。子ども同士の間で積極的に晒すことが、これらの社会性を伸ばす機会になればと考えています。

◎他者とのルールは実際に経験しないと学ばないから。

◎相手の気持ちを考えることなど、日々の集団生活に多くの学びがあると思います。

◎集団生活において、危険を回避したり、皆が心地よく過ごしたりするためのルールの在り方や、他者への思いやりなどは、大人が答えを与えるよりも、子ども同士で感じ合い、考え合うほうがより定着するようです。園生活では、お友達と関わり合う中で生じる齟齬が契機となって、どのように解決を図ればよいのか、それぞれの立場から提案するなど、子ども同士が互いの育ちを支え合う場面が多くあると感じています。

#### 【5歳】

◎小学校で必要になる社会性を就学前に育成していけるのはありがたいと思うため。

◎核家族化、少子高齢化の中で、家庭で社会性を養うことは難しく、小学生になるまでにある程度の社会性、協調性を身につける必要があると思います。

◎社会の中で苦手なことや嫌いなこともひっくるめて自分の経験にして欲しいです。そして社会に生きる上で友達が大切であることを感じて欲しいです。

◎我が子とそのルールをわかっているながらも、まだヤキモキする場面が多いようで、たまに家で爆発していることがある。

◎我が子の成長をみていると、お友達との関わりによるものが大きいと思います。わらす組と一緒に過ごしたり、お手伝い保育もとても、良い経験だと思っています。友達の中で起こった理不尽な出来事や、楽しかったことなど、いろんなことを都度学びや経験に変えていってもらえたらと思います。

◎子どもたちには子どもたちの世界があるので、大切にしていってあげたいと私も思う。見守る位の距離感はあるといいと思う。

◎社会のルールを自然と身につけられる環境や子供たち同士の関わり合いは大切だと思います。

Q4 保育方法について。アロペアレンティングについてです。人類の子育ては親だけではなく、保育園のように、いろいろな大人との共同保育でした。虐待が増え育児の負担感が重い現代こそ、それが大切だと考えますが、どう思われますか？

◎そう思う 29 ×そう思わない 0 ▲わからない 2

#### 【0歳】

◎同意見だから

◎保育園の先生を含め色々な人と子供の情報を共有することで親の負担が減ったと感じたため。

#### 【1歳】

◎親だけで育てるよりも、多くの人に育てていただく方がより柔軟性のある人間に育つと思っているため。また、親に心のゆとりが生まれ、子どもに対してより寛容になれると思われるため。

#### 【2歳】

▲保育園はその通りです。人見知りが減ると思うのでよいと思いますが、一方で関係する人すべてが善人であるという性善説に基づいているとは思いません。

◎親以外の大人と関わることで、親だけでなく子供にも安心感を得られる場所や逃げ場ができ、ストレスを軽減できるように感じます。コロナ前の親が参加するアロペアレンティングも素晴らしい取り組みだと思います。

#### 【3歳】

◎自分の子育てに絶対の自信があるわけではないし、ずっと一緒にいると息が詰まりそうになる時もあります。保育園でプロの先生方と関わってもらうことで、安心できたり、心穏やかに過ごせたりしていると思います。コロナでもう1年半以上祖父母にも会えていないので、年配の方や外部の方と関わっているのも貴重な経験になっているように思います。

#### 【4歳】

◎専業主婦、パート、フルタイム、時短と経験してきましたが、今が一番、充実して子育てができています。一緒にいる時間が少ないから申し訳ないという罪悪感もなく、子どもにとって最上の環境を用意してあげられていると自信をもって子育てできるのは千代田せいが保育園で保育していただいているからだと思います。一緒に子どもといる時間の多少よりも、子供が過ごす時間の質の高さ、経験の豊かさが子どもにとっては大切で、それは親だけが用意するには限界があります。そのことに気が付けたのも千代田せいがにお世話になって我が子の成長を目の当たりにし、先生方とお話したり、ホームページの日記を読んだり、他の保護者の方とお話するうちに実感したからです。保育園と共に子育てすることで自分の人生を育児で犠牲にしていると感じたり、逆に子どもが自分のすべてと思いつくこともなく、自分

自身の人生や先の将来を考えられるようになり、それが子どもを一人の人間として尊重できることにつながっている気がします。

◎地域の大人との関わりが希薄になる時代に、さらにコロナ禍で祖父母とも交流できない中、保育園の存在は非常に大きいと思う。

◎共同保育は、育児の負担軽減も重要ですが、子どもが複数の大人と接触する機会を得ることにより、価値の相対化ができるようになる効果が大きいと思います。娘は父と母に対してそれぞれ話題を使い分けていて、「これはお母さん（お父さん）には秘密にしてね」と言われたことが多々あります。同じ大人としては括らずに、相手を見て話題を選んでいるのは明らかで、社会的知性の発達の好ましい例と捉えています。周囲に大人が多いと、子どもの人間関係はいい意味で複雑になります。その多彩な関係は対人能力の向上に好影響があると考えています。

◎虐待の発生原因は様々ですが、相談相手がいない、気持ちを切り替えることができないといった環境要因もあると思います。子どもを育てる責任が一人にかかるのが辛いですが、「一人で背負わなくてもいい」と思えるだけでも回避できる人はいると思います。

◎親だけが負うのは子どもにはリスクです。

◎多人数が同居する世帯では、祖父母などの共同養育者の存在によって、父母が安心して働けることに加え、前々世代の知恵を子孫に伝えることで、子どもの情緒的発達を促し、祖父母自身にも社会的な役割が与えられるなどの意義を生んできたと思います。しかし核家族化が進む中で、さまざまな世代の人との接点や地域との関わりは減る一方です。コロナ禍でますますその傾向は強くなり、感染への不安を抱えながらも、子どもの健康的な発育を保障しなければならないという責任が、父母にのしかかっています。保育園はコミュニティとの関わりを保つうえで重要な存在です。先生方をはじめ、異年齢のお友達とご家族、外部の先生や地域の方々など、このような時代だからこそ、あらゆる人々との交流を親子共々大切にしていきたいと思っています。

## 【5歳】

◎子供にとっても、一様ではない価値観に触れることができ、多様性を受容できることにつながると思うため。

◎子どもの主体性とは相容れないものが社会にはあることを親以外のたくさんの大人と過ごすことで学んで欲しいです。

◎そう思って頂けることに感謝します。

◎コロナもあり周囲の人を頼りにくい、また、両親も働いているため、子供の預け先、頼り先が保育園しかないのが、助かっている。コロナだが、またアロペアレンティングの取組があれば参加したい。

◎全ての子供は人類の宝です。子供にとって、親や先生でない大人から、愛情を注がれたり、遊んでもらったり、叱られたりする経験も大事ですし、親にとっても他の家の子供と、我が子のように接する機会はとてもいいと思います。親の役割、先生の役割、他人の大人の役割があるんじゃないかと思います。

◎私自身、パートナーが仕事が忙しく朝から晩まで居ない中、両家の親に頼れない状況で孤育てをしてきたので、子どもを可愛いと思ったことがほとんど無い。こんなはずじゃなかった…と思うことの方が圧倒的に多かった。また、保育園に入れて頂いたことも本当に大きく救われた。



◎全くそのとおりだと思います。核家族のみでの子育てには限界がありますし、人類がはじまってずっと周りがかかわって子育てをしてきた中でいくと、現代の子育てが逆に不自然に思います。

Q5 保育方法について。子どもの権利条約に批准している日本では、子どもの最善の利益を優先した社会を目指していますが、当園の保育でも子どもの人権を重視しています。これからの時代、子どもが主体的に生きる力を育むためにも、何をして遊ぶか、何を探求するかなど、子ども自身が園生活の意思決定に関わること（参画すること）が大事だと考えますが、どう思われますか？

◎そう思う 29 ×そう思わない 0 ▲わからない 2

#### 【0歳】

◎同意見だから

#### 【1歳】

◎子どもの頃から自身の行動についての意思決定を行うことにより、主体性のある人間に育つと思われるため

#### 【2歳】

▲子供の希望が最優先ではないと思います。

◎主体的に生きていくために自分自身が意思決定していくことはとても大切だと思います。教育というつついなんでも与えがちで子供は受け身になってしまう事が多いが、小さいうちから自分の意思で物事を決めていく保育方針は素晴らしいと思います。

#### 【4歳】

◎お散歩の季節は外に行くか、部屋で過ごすか、夏はプールに入るか、お休みするか、入るならイルカかカニか、常に子どもの選択を尊重しどれを選択しても充実した時間を過ごせるようになっていました。言われるがままに過ごすのではなく、子ども自身も今、自分は何をしたいのか、自分と向き合って考える習慣を幼い頃から持つことができるのは、正解がない世界を生きる上でとても大切なことだと思います。◎3階の集まりで子供同士の話し合いで開けるゾーンなどを決めている姿を見て、それが実践されていると思う。

◎私個人の経験からも、モチベーションの確保には、周囲の環境への干渉が可能であること、状況を自らの意思によってコントロールできると信じられることが重要であると考えます。むろん、ある程度の枠組み、選択肢の準備は必要になるでしょうが、課題や目標を一方向的に与えるタイプの学習では習得できない主体性や能動的な行動力を培うことができる、貴重な機会になると思います。

◎話せるようになると、幼くても自分の意思を表明できると感じています。自分の意見を反映されたことを知れば、自分と他者との関わりをより強く感じるができると思います。

◎自分のことを自分で決めていくことは、一定の年齢になって急に求められるのではなく、幼い頃から習慣的にしている方がよいのだと思います。

◎表現こそ成熟してはいないものの、子どもたちにはいろいろなことに関わっていきたい、あるいは関わりをもちたくないという強い意思があります。意思決定に関わることが、主体的に物事に取り組もうとする原動力になるのだと思います。

#### 【5歳】

◎自分で決めることによって、意欲や責任感にもつながると思うため。

◎与えられた課題をやり遂げることも大切だが、許される範囲で主体的に行動出来るようになることの方が重要であると思います。

◎とても良いと思います。上記のことはこれからの社会で一番必要なことだと考えているため、恥ずかしさや苦手意識も乗り越えて経験してほしいです。

◎議論して意思決定する能力が養われるといいなと思います。実際にお泊まり保育では、みんなで決めて、体験したというプロセスもとても貴重な経験だったと思います。

◎自分で考え、自分で行動していくチカラが、これからはますます必要になるのではないかと感じているから。

◎自分で考えて行動する力こそが、強く生きていくための糧になるなと思っています。

Q6 保育方法ついて。園庭がなく狭い敷地の保育園ですが、運動機会の確保や自然との触れ合い、開放感を感じる生活などに力を入れています。

◎そう思う 30 ×そう思わない 0 ▲わからない 1

#### 【0歳】

◎同意見ですし、そのため屋形船の企画をご検討くださりとてもありがたいです。

◎室内でも体を動かして遊べる空間があったり近くにお出かけをする機会を設けていただいているため。

#### 【1歳】

◎健全な発育には、運動や自然との関わり等が欠かせないと思っているため

#### 【2歳】

◎保育園のおかげですっかり虫好きに育っています。休日のお散歩中にも虫を探したりしていて、都会で育ちながらも自然や生き物と触れ合うきっかけをくださっていて感謝しています。

◎活動が多く大変感謝しています。

◎都会の色々な難しさがある中でとても工夫して活動してくださっていると感じます。都会の園であっても昆虫や植物に触れる機会をたくさん作ってくださっていると思います。

#### 【3歳】

◎わいわい組に上がってから運動ゾーンで毎日体を動かしているからか、公園などでも遊具に登ったりする力が急について驚きました。0~2歳児クラスでももう少し運動の機会があればいいなと思いました。

#### 【4歳】

◎運動ゾーンで思いっきり体を動かしているおかげで、いつの間にかでんぐり返しができていて驚きました。屋上でいろいろな植物を育てることや、お散歩で季節の移ろいに敏感になりました。入園前のただ一つの気がかりが園庭がないことでしたが、入園してから園庭がないことを気にしたことは一度もありません。

◎バス遠足は非常に良いと思うので、秋にまた取り入れていただければありがたい。

◎私も妻も田舎の出身で、自然が当たり前にある環境で育ってきたため、幼少時の自然体験に由来する感覚が今でも多く残っています。草むらの匂い、木登りの幹の感触、溪流の水の冷たさなどを、折りに触れて想起することがあり、娘がこの感覚を知らずに育つことを残念に感じていました。ただ、公園や街路樹の乏しい自然の中で、アリを探したりダンゴムシを見つけたりしているのを見て、都市には都市なりの感性の振幅があり、それは目線ひとつでいくらかでも豊かになるのではないかと考えています。

◎運動することで心身両方の発達につながると思います。

◎屋外で過ごしたり、野菜を育てたり虫を飼ったり、成長する時期に必要なことなのだと思います。

◎半年前まではダンゴムシさえ触ることのできなかつた息子が、先日公園でカマキリを素手で捕まえて、近所の子たちにその生態を説明していました。息子は普段、おそらくあまり積極的に生物ゾーンに関わろうとしているわけではないと思いますが、先生の教えやお友達の言動をよく観察しているのだと思います。空間・物的な環境を工夫されていることはもちろんですが、人的な環境が子どもに与える影響の大きさも実感した次第です。

#### 【5歳】

◎運動も自然も多種のものに触れる機会が重要と思うため。

◎運動も自然も多種のものに触れる機会が重要と思うため。

◎コロナ禍でバス遠足がなくなり残念ですが、園内でのクライミングゾーンでの活動や、屋上庭園、またコンテンポラリーダンスを教えていただいたりと、園庭以上の運動・体験をさせていただいています。

◎バス遠足などが早くまたできることを祈ります。園庭がないことを不満に思うことはこれまでありませんでしたが、外出機会が制限され運動量や体験が減るのは心配です。

◎クライミングやネット、トランポリン、屋上での遊び等工夫してくれてありがたい。またいろんな植物や生物に触れられるのもよい。家だとスペースもなく、飼えないため。

◎都立公園などに連れて行っていただいたりしてありがたいと思います。

◎今できる環境の中でとても努力していただいていると思います。これから涼しくなるので、お散歩に沢山行けたら良いなと思います。都会ならではの体験も沢山あると思うので、そこもポジティブに捉えていけたらと思います。

◎先生方から出てくる発想の転換や、アイデアには、いつも驚かされています。お陰様で子どもたちは、のびのびと健やかに、発想力・感受性豊かに育っているように思います。

◎近隣の公園やバス遠足で行く大きな公園、近所の自然観察、屋上の菜園、その時々シチュエーションや子どもたちがまとめているものに合わせて活動してくださってるなど感じます。

Q7 保育方法について。乳幼児期には脳の敏感期があり、そうした発達心理学や脳科学の知見を踏まえながら、五感を通じた実体験を大切にされた保育をしています。

◎そう思う 3 1 ×そう思わない 0 ▲わからない 0

【0歳】

◎同意見だから

【1歳】

◎実際に体験することは、発達に寄与しているため

【2歳】

◎家庭ではなかなかできないことも経験させてもらっているように感じます。月齢、年齢の発達に合わせた遊びの中に工夫して取り込んでくださっていると感じます。

【4歳】

◎親もできない梅干し作りに取り組んだり、プロの青木さんにダンスの指導を受けたり、豊かな体験はものの見方や考え方を広げてくれているんだと最近、子どもと話して感じます。上の兄弟が勉強の話をしていると「～ちゃんもわらすの部屋で勉強しているんだ」とにこにこ胸をはっていました。兄弟に対抗した気持ちもあったのかもしれませんが、子どもにとって保育園で遊ぶ時間は特別な時間なんだと思います。帰り道で雷がなったとき、雷の仕組みをとうとうと話すので誰に教わったの？と聞くと先生！と答えていました。子どもには難しすぎるとかわからないだろうではなく、大きな雷に驚いた体験と「どうして雷がなるのか」をつなげて好奇心を伸ばして下さったりと保育方法に親も学ばせていただいています。

◎つまるところ私たちは自分の身体を通すことでしか外界と接触できず、感覚の豊かさはそのまま当人の世界の豊かさに直結しています。幼少時から自然に囲まれ、兄弟が幾人もいるような環境であれば、放っておいても豊かな体験を得られるかもしれませんが、都内の核家族では困難でしょう。

その代わりに私たちに与えられているのは、高度な文明がもたらした知見なので、それらをフルに活用することで、代替できればそれに越したことはないと考えます

◎脳の敏感期などはよくわかりませんが、五感を通じた実体験の重要性はなんとなくわかります。

◎それぞれのゾーンでは、手先の感覚・バランス感覚・脳の運動野などに刺激を与える工夫がなされていると思います。また給食の時間では、出汁や味噌の比較による味覚の刺激や、諸外国の料理を通じて各文化に触れる機会もあり、楽しい体験の一つとなっているようです。

【5歳】

◎多くの体験が心の成長にもつながると思うため。

◎野菜を種から育て、収穫し、食べる。また、虫をたまごから育て、成虫になったら空に放つ。このような体験は、きっと大切な宝物だと思います。

◎知識ではなく体験をわたしも重視しています。たくさん五感を刺激して欲しいです。

◎子供たちがいつも目を輝かせるようなたくさんの経験をさせていただいてるなと感じます。

Q8 保育方法について。早寝早起きなど睡眠サイクルや生活リズムを守ることが子どもの発達には重要だと考えて、午前中の活動、午睡のあり方など登園から降園までのデイリープログラムを工夫しています。

◎そう思う 3 0 ×そう思わない 0 ▲わからない 1

#### 【0歳】

◎睡眠リズムを整えることが大事だと思うから

◎休みの日でも規則正しい生活を園生活のおかげで出来ているため。

#### 【1歳】

◎規則正しい生活が子どもの発達には重要だと思っているため

#### 【2歳】

◎生活リズムを大切にしている姿勢はとても伝わってきます。睡眠講座等も開いてくださっており、ただ大事と言われるのではなくしっかりと根拠があるので親としても受け入れやすく、なんとかリズムを守っていきたいと思っています。

#### 【4歳】

◎午睡のあり方を子どもそれぞれのサイクルに合わせて考えてくださり、ただ早く寝ることを家庭にお話するのではなく、夕飯に手をかけなくてもいいという言葉添えてくださるなど、家庭の状況も踏まえつつきちんとした生活リズムを整えてくださり感謝しています。家庭が生活リズムを崩さないよう努力しなきゃと感じる日々です。

◎生活サイクル、特に睡眠時間の管理については、力を入れていただいている非常に助かっています。娘の場合、睡眠時間の不足は、集中力の欠如、食欲の不振、イライラした態度などに露骨に現れて、かねてから手を焼いていたのですが、おかげさまで最近は大いぶ改善されつつあります。睡眠のサイクルをいかに安定させるかは、娘の生活を充実したものにする上での最優先事項なので、現状の取り組みをぜひ継続してください。

◎睡眠と生活リズムは、健康に生活するために必須です。成長する時期の子どもたちならなおさら重要だと思います。

◎質のよい睡眠の習慣は一生の財産だと思います。睡眠を中心に生活リズムを整え、楽しんで保育園に行ってくれると、親としてとても安心です。保育園では午前中の活動、昼食、午睡、午後の遊び、お集まりなど、安定したタイムスケジュールのもと、メリハリのある生活を送れるようにご配慮いただいているなと感じています。

### 【5歳】

- ◎午睡の有無をそれぞれの子どもに合わせ対応して下さることで、生活リズムが整えやすいです。
- ◎これは個性や発達度合いは関係ないのでしょうか。質問に質問で返してしまい申し訳ございません。
- ◎入園当初からお昼寝の自由選択は面白い取り組みだと思っていました。
- ◎保育園に通わせて頂くようになってから、より一層、生活リズムが整ってきたように思う。
- ◎年齢ではなく個人の成長にあわせた生活のリズムを作ってください感謝しています。

Q9 保育の質について。当園が千代田区のコンペで選ばれた時から、子どもに経験させたい活動内容の質は「保育のプロセスにある」と考えてきました。私たちが「善い」と価値判断している保育内容は、価値中立的なものではありません。そう考えたとき、子育ての主人公である保護者の皆さんと、「不断の対話」をもっと充実させていくことが大切だと考えています。

- ◎そう思う 2 9 ×そう思わない 0 ▲わからない 2

### 【0歳】

- ◎同意見だから

### 【1歳】

- ◎価値観は、人や立場によって異なると思われるため

### 【2歳】

- ◎子供も賢いので、どんな活動をして、自分の好みでない活動であっても、結局自分のやりたいことをやると思います。
- ◎保育を保育園に丸投げするのではなく、一緒に保育をしていくイメージです。親との対話は先生方にとっても大変な業務になるとおもいますが、考えを共有できる点でとてもオープンで素晴らしいと思います。

### 【4歳】

- ◎例えば21時までに寝せないといけないとその重要性をひしひしと感じているのですが、帰り道で子供が木に巣を作ってるアリをみたいと言ったとき「あーこれで30分ロスしてしまう」と思い早く帰ろうと説得するものの結局その説得に時間がかかり、家に帰ってからもイライラけんか腰で寝る時間を迎えることがあったりします。余裕があるときはそんな日もあるかと思えるのですが、お迎えから寝るまで子どもに早く、早くを連呼しているのではないかと自分のタイムマネジメントのできなさに落ち込むこともあります。善いと思うこと（例えば虫に興味を持つこと、早く寝ること）がせめぎあったときどのように選んだり解決すればよいか、一緒に子育てをしてくださる先生方とお話することでもっとより善い家庭保育ができるのかなと感じています。オンラインでのコーヒータイム楽しみにしています。
- ◎コロナ禍で懇談ができないのは残念だが、ブログやお便り等で保育園からの情報発信が豊富で大変ありがたい。また、アンケート等で保護者の意見表明をする機会も多いと思う。回答のまとめからほかの家庭の意見を知ることができるのも参考になる。

◎せいが保育園の保育の方針と内容については強いシンパシーを抱いています。

他の一般的な保育園を基準とするなら、せいが保育園は特色が多い園であるため、価値中立的とはいえないかもしれませんが、1年近くの間お世話になってきた中で、その方針と施策においてはほぼ完全に同意できるというのが、私の個人的な感想です。対話の充実の重要性についても、もちろんその通りだと思います。

◎継続的にコミュニケーションさせていただき、一層良い環境に繋がればと思います。

◎親に見えていないこともたくさんあると思うので、意識を共有したいと思います。

◎子育てにおいて、園と家庭との連携は不可欠です。コロナ禍で制約はあるでしょうが、意思疎通を図る機会を持ち得ればと思います。

### 【5歳】

▲納得感は欲しいと思う反面、専門家にお任せしたい気持ちもあるため。

◎適宜、個人面談をしていただき、子どもの園での様子を知るとともに、先生方の保育の目的や考えを知ること、子どもへの対応の擦り合わせができており、質の高さを実感しています。

◎いつも大変な中でお話し頂きありがとうございます。忙しい時は早く子供連れて帰れと遠慮なく言ってください。

◎子供がたまにもやもやしたまま帰ってきて、なにがあったかわからないので、なにか注視した方がいいことは都度お声がけいただけるとありがとうございます。個人的には楽しかったこと、頑張ったこと等プラスのことは家で話してくれるのですが、嫌だったこと、モヤモヤしたこと等マイナスなことについてはあまり自分から言いたがらず、心が不安定で当たり散らしていることがあって、大変だったので…

◎より良い保育を目指していくためには、いろんな家庭の意見が必要かと思います。

▲深い愛情で見守ってくださっている先生方には、色んな面でかなわないと思っています。こちらから言えることは何も無いような気がしています。ただ、お話は伺いたいと思います。

◎一緒に子供を育てていく共同者として対話する時間はとても大切に思っています。

Q10 令和3年度も8月で5ヶ月が経ちます。秋から冬への保育計画に反映させたいので、今年度の保育（保護者会、お当番活動、異年齢保育、お手伝い保育、保育参観、バス遠足、誕生会、触れ合いウィーク、スイカ割り、お泊り保育、納涼会など）で、皆さんが「善い」と感じた内容を教えてください。（自由記述）

- ・コロナ禍の中で参観日を企画してくださりとてもありがたかったです。
- ・ぐんぐん組や、さらに上の子達との触れ合いで、娘がより成長しているのを感じております。
- ・納涼会は親子共に非常に楽しむことが出来ました。コロナ禍ではありますがまたこう言ったイベント事があれば是非とも参加したいと考えております。
- ・保育参観
- ・参加はできませんでしたが、このコロナ禍でも諦めずに納涼会を開催してくれるのはすごいなと思いました。先生方とても頑張ってくれていると感じました。

・残念ながら当日に参加できませんでしたが、納涼会はとても良い経験だと思いました。また、とうもろこしの皮むきやスイカ割りなど野菜や果物に触れることができたのも貴重な経験だと思いました。

・コロナ渦で、行動もかなり制限される中、工夫して子供の成長に必要な活動を継続して下さっていることに感謝します。全ての保育活動がそれぞれ意味のあるもので、善かったと思います。

・昨年も今年も夏祭りを経験できていない子どもにとって、納涼会は唯一の夏祭りで、とても思い出に残ったようでした。コロナ下でイベントは全て中止の保育園が多い中、工夫しながらイベントを開催いただき本当にありがとうございました。

・誕生日会はいつも楽しそうにしています。納涼会のクオリティはすばらしかったです。友達同士の絡みがみられなかったのは少し残念ですが、時代なのでやむを得ないです。

・異年齢保育や誕生日会でお兄さん、お姉さんたちと一緒に過ごすのはとてもいい刺激になっていると思います。誕生日会の際のフラワーアレンジメントはすてきな取り組みだなと感じています。コロナ禍でも子供たちの貴重な経験の場が失われないように工夫し、お泊まり保育や納涼会を開催してくださっているのもとても感謝しています。

・納涼会、保育参観

・コロナ禍でお祭りや花火大会など一般的な催しがほとんどないまま1年半の季節が過ぎてしまい、子供たちの季節ごとの思い出もなかなか作ってあげられないなかで、納涼会や七夕の飾りなどやって頂けて嬉しかったです。遠足やスイカ割り、お誕生日会、お当番などすべての活動が幼いながらに経験として長く残っていくと思うので、大変ありがたいと感じています。

・できる活動が制限される中で、先生方の工夫で毎日楽しく過ごせているようで感謝しています。

本人は先日のお店屋さんごっこがとーっっても楽しかったようです。

・スイカ割りと納涼会しか参加していなかったのですが、とても良かったです。コロナの緊急事態の中、感染予防しながら頑張っている先生のみなさん、本当ありがとうございました。お疲れ様でした。

・保護者会、お当番活動、異年齢保育、保育参観、バス遠足、誕生会、スイカ割、お泊まり保育、納涼会、講演会、運動会、食育、プール、植物を育てる。

・屋上でのスイカ割りとスイカパーティーがとても楽しかったのか今まで一口も食べられなかったスイカを食べることができた記念すべき夏になりました。納涼会は本当に驚くほど密をさけ実施してくださり、先生方のご苦労は大変なものだとは思いますが、子どもに「お祭り」を思い出させてくださいました。本当にありがとうございました。藤森先生の講演会は子育てだけではなく仕事にもたくさんヒントがありました。保護者会はその年齢の特性や異年齢保育の利点がよくわかりました。保護者会で伺ったことを念頭に子どもを見ているとああこういうことかあと納得することの連続で、新たな視点から子どもを見ることができました。コロナで難しいとは思いますが、すいすいわいわいの保護者の方となかなかお話しする機会がないのでコロナが収束しましたら、わらす合同の保護者会ができたらいいなと思います。

・日常としては、わいらんすいの異年齢保育が非常に良いと思う。感染対策という難しい要素がある中、数多くのイベントを開催してくださって、本当にありがたい。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

・納涼会が非常に良かったです。いつも通い慣れている園が違う雰囲気になっていて、先生たちが屋台を出店している、なんとなくお祭りの高揚感が漂っている、といった非日常感に驚いたらしく（生まれて初



めての体験です)、珍しくよそ行きのしおらしい態度で過ごしていました。

保育園の日常から少しはみ出した時間を過ごしたことで、これまでとは違った園に対する愛着が生まれたように感じます。

- ・スイカ割りや納涼会など季節のイベントは、家庭ではフォローしきれないのでとても良かったと思います。

- ・お当番活動や異年齢保育が好きです。みんなのために役割を果たすことが、チームワークのようなものにつながるのではないかと考えています。

- ・納涼会は息子にとってとても楽しい思い出になったようです。当日帰宅するとすぐに、パスや看板を製作したり、積み木でピンボールをつくったりと、今度は息子が招く側になって私たち両親を遊ばせてくれました。昨年同様、親子でイベントを楽しむ機会がない中、貴重な時間となりました。また、新しいパートの先生や保育実習生の方など、最近ではさまざまな世代の先生と接する機会があり、その活気が伝わってきます。コロナ禍であることを考えると難しい側面もあるとは思いますが、設問7、8であったように、「アロペアレンティング」の視点で考えると、たくさんの人と関わるのが、子どもにとっても保護者にとっても大切だと思います。我々大人が自身の生活に責任をもち、各自がしっかりと感染対策をしながら、子どもたちの成長を守ってあげたいと願っています。

- ・役割を成して人の役に立つことが経験できるお当番活動、特別感と一体感を経験できるお泊り保育、コロナ禍において減少した季節の風物詩を経験できる納涼会、等が特にありがたかったです。

- ・コロナ禍での行事の企画・運営、ありがとうございます。お当番活動、お手伝い保育は責任感や自主性が芽生えた気がします。また、お泊まり保育での学びは多く、夜を共に過ごし朝を迎え、初めて見る友達の様子に気づきがたくさんあったようです。本人は、卒園前にまたお泊まり保育をして成長した姿を見せたいようです。

- ・甘えん坊な息子がお泊まり保育楽しかった～またやりたい！と帰ってきた時はとても感動しました。先日の納涼会もそうですが、この状況下で最大限子供のことを考えてくださって、本当にありがたいです。先生方も困りごとがあればいつでもお話し頂ければと存じます。

- ・基本的には全部よいと感じていますが、特によかったものを下記に記載します。お泊まり会→準備段階からとても楽しみにしており、初めて親がいないお泊まりを経験しましたが、とっても楽しかったようです。イベントも盛りだくさんで運営ありがとうございました。また、おねしょがなくなるきっかけになりました。納涼会→コロナですべてのイベントが中止される中、工夫をこらして、開催くださり、ありがとうございます。しぼんでしまいましたが、まださくまはヨーヨーを大事にもっています。早くみんなで、すいかを割って分けあって食べられるようになれるといいですね。青木さんのダンスや他のサポートして下さる皆様との活動→青木さんのダンス、とっても楽しいようです。踊った日は家でもよくやります。最近はお見かけしませんが、絵本を読みに来てくださる方がいてくださったり、設問7にあるように保育園を通じて、色んな人に触れあえる機会があり、ありがたく思っています。バス遠足、保護者会→またできるようになったら、ありがたいです。保護者会、もしくは設問17について相談できる環境があるとありがたいですね

- ・今年もコロナの影響で殆どの行事等出来ませんが子供を安全に預かってもらえて大変感謝しています。

・善くなかったものは何もないです。特に良いと思うのは、お当番やお手伝い保育。お泊まり保育は親にとってもいまだに特別だった記憶として焼き付いています。日々の園長日記やクラスブログも、園での様子がよくわかっていつも楽しみにしています！

・実施して下さったもの全て、良かったと感じています。この大変な状況下で、よくぞこれだけの催しを実行して下さったと、ただただ感謝しています。

・このご時世、全ての行事を行っていただけることに感謝しています。